

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		地域づくり団体活動支援事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康				所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進				所属課	企画課	担当者名	宮崎 早香
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 13	事業連番 10331	根拠法令			
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域づくり団体やNPOの活動に関する相談・支援並びに情報提供を行なう事業で、本市では平成20年12月に「合志市地域づくりネットワーク」(17団体)を発足し、その活動を支援している。(令和5年4月現在 9団体) 上部団体である「火の国未来づくりネットワーク」(平成6年に地域づくり団体熊本県協議会として発足し、平成18年に改名)と連携しており、令和5年4月に火の国未来づくりネットワーク菊池ブロックネットワークに登録している団体は合志市3・菊池市1・菊陽町1・大津町1の計6団体である。 令和6年度からは、11603(地域活性化センター参画事業)、11643(合志市まちづくり団体等設立支援事業)を統合。
【業務の流れ】	・火の国未来づくりネットワークの会議等の情報共有 ・地域づくり団体の会合等への参加・地域づくり研修会の情報共有や参加 ・合志市地域づくりネットワークの総会、定例会、役員会への参画
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、報償費、旅費(普通旅費)、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	会員から、地域づくりネットワークの規約に目的は記載してあるが、より具体的な目標が定まっていない。また、他市町からの団体の参加が少ないとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 火の国未来づくりネットワーク、菊池地域ブロックネットワーク、合志市地域づくりネットワークの各種会議の運営・参画を行った。令和5年度は7月に菊池ブロック及び合志市ネットワークの総会を実施した。また、第39回地域づくり団体全国研修交流島根大会に職員1名が参加し、地域づくりの取り組みについて学び、地域づくりに関わる人たちとの交流を深めた。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・火の国未来づくりネットワーク総会、菊池地域ブロックネットワーク活動支援 ・合志市内地域づくりネットワーク総会、定例会、役員会への参画
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 会議等の開催・参加回数		地域活性化センター参画事業(11603)、合志市まちづくり団体等設立支援事業(11643)を統合したため事業費の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 団体	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ ア: 地域づくり団体		→ ア: 地域づくり団体数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 団体	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ ア: 活動の幅が広がる		→ ア: 市のネットワーク参加団体数
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合志市地域づくりネットワークに登録された団体数により、活動の大きさが把握できるため成果指標とした。		全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移												
			単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標			ア回	7	3	20	3	20	20	20	20	
② 対象指標			ア団体	40	40	45	15	45	45	45	45	
③ 成果指標			ア団体	10	9	15	9	15	15	15	15	
投資 入費 量	事業 費 内 訳	財源	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			繰入金	千円								
			一般財源	千円	30	22	130	94	286	412	412	412
		(A) 事業費計	千円	30	22	130	94	286	412	412	412	
			(A)のうち指定経費	千円	30	22	44	19	46	37	37	37
			(A)のうち時間外、特勤	千円	30	22	44	19	46	37	37	37
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3	3	
延べ業務時間		時間	170	120	175	100	175	175	175	175		
(B)人件費計		千円	664	456	697	364	697	697	697	697		
トータルコスト(A)+(B)			千円	694	478	827	458	983	1,109	1,109	1,109	

事務事業名	地域づくり団体活動支援事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	---------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 合志市地域づくりネットワークは、地域づくり団体やNPO法人の相互交流の場であるため、具体的な事業は定めていない。団体の会員減少等により脱会された団体があり達成していない。加入団体にメリットがないように理解されるため、自発的な活動の支援や市のまちづくりを説いても、加入団体の増加にはつながっていない。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成25年度から自主事業を実施しており、事業PRを行いながら各団体へ参加呼びかけを行っている。また、H27年度から地域づくり団体設立支援事業を設立し、10万円を上限として新規設立団体に補助する事業を実施しており、その中で、地域づくりネットワークへの加入が条件となっていることから達成する見込み。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 加盟団体相互交流や行政との更なる連携が高まっており、成果向上の余地がある。 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和6年度からは、11603（地域活性化センター参画事業）、11643（合志市まちづくり団体等設立支援事業）を統合。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 地域づくり全国大会の参加について検討の余地がある ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事務しか行っていないため、削減の余地なし。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 協働によるまちづくり推進のため、公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 規約を改正し会長宅に事務局をおいたが、団体からは事務局をするのは難しいと言われており、実質的には職員が時間外に事務局業務を行なっている状況である。

3 評価結果の総括（CHECK）

合志市地域づくりネットワークの支援を主に行っており、新規加盟団体の掘り起こしを行う必要がある。令和6年度以降は、地域づくり全国大会への参加は中止することで、旅費を削減する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☒事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 令和6年度からは、11603（地域活性化センター参画事業）、11643（合志市まちづくり団体等設立支援事業）を統合		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							